

若い世代への佐渡の芸能・文化の継承

芸能や文化の継承は、各保存団体や様々な場で行われています。研修会での継承活動について紹介します。

今回は、児童の授業や

■学区の鬼太鼓を学ぶ

9月1日(水)、両津吉井小学校で、佐渡の鬼太鼓についての授業が行われました。

講師は、NPO法人佐渡芸能伝承機構の松田祐樹理事長です。

松田理事長は、最初に両津吉井小学校の学区内で継承されている鬼太鼓をクイズで紹介しました。同じ学区内であっても、舞いなどに特徴がありました。

児童からは「いつから佐渡では鬼太鼓があるのですか?」、「鬼の数え方」など40を超える質問があり、松田理事長は1問1問、丁寧に答えていました。

両津吉井小学校では、1年生から3年生が総合的な学習の時間で地元の保存会から鬼太鼓を習います。



▲鬼太鼓を学ぶ、児童たち

■多種多様な、佐渡の鬼太鼓

9月3日(金)、鼓童文化財団研究所で佐渡の鬼太鼓についての研修会が開かれました。

講師は、NPO法人佐渡芸能伝承機構の松田祐樹理事長です。

松田理事長は、島内各所で継承されている鬼太鼓を紹介しました。参加した研修生たちは、貴重な動画を興味深そうに見つめ、松田理事長の解説を聞きながらメモを取っていました。

鼓童文化財団研究所では、新入生が入所する春に、島内各地の芸能を鑑賞して回る研修会を開催しています。しかし、昨年、今年とコロナ禍のため実施が見送られていました。

今回の研修会では、その実地研修の分も含めて松田理事長が、佐渡の鬼太鼓の起源、特徴的な形態によって5つに分類した「型」などについて熱く語っていました。

研修を終えた研修生たちは、岩首集落に出向いて鬼太鼓の稽古に励みます。



▲NPO法人佐渡芸能伝承機構
松田祐樹理事長



▲鬼太鼓を学ぶ、鼓童の研修生たち

～ 草苺神社夜能、開かれる ～

9月7日、羽茂地区の乙祭りで草苺神社能舞台で夜能が奉納されました。

コロナ禍で、日中の野菜苗を販売する出店や芸能大会などは自粛されましたが、以前は盛んに開催されていました。浮かび上がった能舞台上で、演者は日頃の練習成果を披露していました。



▲今回は「狸々」が奉納された

▲浮かび上がった草苺神社能舞台

～ 貴重な竹細工展、開催 ～

小木在住の竹細工職人、数馬昭男さんの「使って愉しむ竹かご展」が、9月29日から5日間、アミューズメント佐渡で開かれました。

毎年開かれているこの展示会には、数馬さんが佐渡産の竹で作った作品が展示され、また、販売も行われました。



～ 佐渡人形芝居の熱演が、ケーブルテレビで放送されます。～

7月18日に開催した「佐渡人形芝居上演会」の様子が3回に渡って、CNSテレビ（コミュニティネットワーク佐渡）デジタル112chで放送されます。

放送開始時刻は、いずれも9時～・13時～・17時～・21時～となっています。ぜひ、ご覧ください。

■佐渡人形芝居上演会(1)

○演題：ひらがな盛衰記 栗津ヶ原巴合戦の場 ほか
○放送日：10月1日(金曜日)・5日(火曜日)・9日(土曜日)・
13日(水曜日)・17日(日曜日)・21日(木曜日)・
25日(月曜日)・29日(金曜日)



■佐渡人形芝居上演会(2)

○演題：説教人形 熊野合戦 四天王奮戦の場
○放送日：10月2日(土曜日)・6日(水曜日)・10日(日曜日)・14日(木曜日)・
18日(月曜日)・22日(金曜日)・26日(火曜日)・30日(土曜日)

※11月には、「佐渡人形芝居上演会(3)」が放送されます。

※災害情報や議会中継、その他都合により番組内容が変更される場合があります。また、佐渡人形芝居上演会(1)(2)(3)の演目内容は変更する場合があります。予めご承知おきください。

佐渡の芸能を後世へ ～ご寄付・ご支援のお願い～

島に響く太鼓の音、島民の笑顔、子どもたちの輝く目、佐渡の日常には文化・芸能が密接に関わっています。

この日常が次世代へ続くように、当財団では佐渡文化の継承・保存活動に取り組んでおります。

ご賛同いただける方のご支援をお願いしております。詳しくは下記QRコードからホームページをご覧ください。



○和楽器を貸し出しています。和の音に触れてみませんか。

○民謡など語り、指導にあたる講師を派遣しています。

○民謡や鬼太鼓などで培われた民芸品などのアイテムを通信販売しています。

